

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和5年3月22日

事業所名 コロニー児童デイサービスはんだがわ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1			
	2	職員の配置数は適切である	2	4			利用児童数に応じて適切な配置を行っています が、職員の急なお休み時の対応策を改善し、より 良い体制に整えるように努めて参ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1	5			改善が必要であれば、その都度、利用者のニー ズに応えるかたちで対応していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	2	3	1		共通認識でも考え方に個人差が出てしまう為、確 認や修正は行っていく必要があります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	2	4			保護者等向け評価表を実施しています。 公表を行っている事や検索方法を資料として配 布し、周知できるように行っています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	3	3			会社のホームページで各事業所の公開を行っ ています。職員間でも周知していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	1	5			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	4	2			法人内でのオンライン研修など行っています。 職員の研修の機会を確保して行い、今後も継続 してできるように行います。
適切な支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	5		1		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	2	3	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	3	2	1		児童の支援に沿っての活動プログラムを立案で きるように話し合いの場を行っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	5	1		プログラムが一緒 でも内容を変更し て行っています。	他事業所とも情報交換を行い、新たな活動も常 に模索しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	4	1	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	5	1			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している		6		その日の児童の様 子や行動の状況に 寄っては変更の再 確認を行っていま す。	その日のリーダーを中心に、活動内容や役割分 担を確認していますが、支援前に打ち合わせで きるように改善して行います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	1	4	1		その日の振り返りは、送迎時間やシフト時間で全 員がその日に共有する事ができない為、翌日か あるいは申し送り表を作成して共有できるように 行っていますが、全員に周知できるよう改善して いきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	4			日々の個別記録を記しています。支援の検証・改 善に関しては職員全員で話し合い共有できるよう に行います。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デ イサービス計画の見直しの必要性を判断して いる	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	4	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			学校からの行事変更、下校時刻の変更などは保護者の方から了解を得て通知書をコピーして把握するように行っています。	学校では複数の児童の引き継ぎがあるので、細かい申し送りは時間に限りがあります。学校の連絡帳を保護者の方から了解得て、情報を共有する事を行っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6			必要な時は連絡体制を整えていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	1			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	5			高等部の卒業生は少ないですが必要性があれば、ご協力致します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	1	4		必要な児童がいた時は専門機関と連携を取っていますが、研修などは受けていません。今後の課題として対応致します。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	3		交流の機会があれば前向きに検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2			参加した時に共有できる事は職員に報告をしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2		送迎時に状況を伝えて、ご家庭での様子を伺うようにしています。	事業所内で発達をサポートする参考資料や本を見て学べるように行っています。実践できるよう努めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4	1		保護者さんからの相談やアプローチが必要と感じる時には行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	2			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4	2		コロナ禍で開催していませんが、収束に近い状況がなので、事業所全体で再開の検討をさせて頂きます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1			子供や保護者の方から苦情があった際には、速やかに管理者に報告し、お詫び、内容確認、対策の検討、実施を本児や家族へ説明、改善を行うよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	3	1		年間の事業所報告書作成し(活動報告や行事報告)配布を行っています。月のカレンダーを作成し活動予定も入れて利用予定表を配布しています。
	35	個人情報に十分注意している	6				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3		機会があれば積極的に検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1			マニュアルを策定し、職員で周知していますが、保護者さんには時間の場をもうけ(家族会等)説明や資料を配布して周知できるように行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				避難訓練フローに添って実施しています。事業所報告書に添付して配布していますが家族会などを通じて説明し、周知していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3			研修などがあれば参加するように行っています。職員間でも研修報告を行い、周知するように行います。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	5			必要なケースがあれば議論していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3			現在は食物アレルギーの児童はいませんが、必要時には対応に努めます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	1		ヒヤリハットを作成してその時に職員に伝えていますが、全員で共有する時間を設けて周知していきます。